

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で 昼も夜も星空満喫 ～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「470億光年の、その先へ」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

テーマ番組「470億光年の、その先へ」6月22日から投影中

6月22日(水)から、後半のテーマ番組「470億光年の、その先へ」を投影中です。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員25名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



7月の注目天体情報

☆見ごろの星座：さそり座

誕生星座にも登場するさそり座は、「つり針」の形が特徴的です。一等星「アンタレス」もあるためよく目立ち、結びやすい星座で人気があります。さそり座のしっぽのあたりを夏の天の川が通っているため、星雲や星団も多く見どころが多い星座でもあります。南の空にあまり高く昇らないので、観察できる時間帯が短いのが残念ですね。

☆さそり座の天体

さそり座の球状星団M4は、近くに一等星アンタレスがありますので見つけやすい星団です。双眼鏡でもぼんやりとしたところ見えますが、望遠鏡で見ると星が集まっている様子がわかります。特に103cm大型望遠鏡で見ると迫力があります。この辺りを写真で撮影すると赤、青、黄と色とりどりの星雲があって、目で見るのとは違う楽しみもあります。

☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観望会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。

